



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年11月24日（木）



「募金への協力をおねがいします！」休み時間になると、ボランティア委員会の子たちが廊下に立って、募金を呼び掛けています。赤い羽根共同募金です。1年生が、硬貨を握りしめてやってきます。募金をすると赤い羽根がもらえます。もらった羽根を名札に貼りつけ、にこにこしながら私に見せてくれました。私も募金に参加させていただきました。赤い羽根をシンボルとする共同募金は、戦後、民間の社会福祉施設などに対する財政補填のために行われていた民間の募金活動を制度化したのですが、今日では各都道府県に設立された共同募金会が実施主体となって、社会福祉を目的とする様々な事業活動に幅広く配分されるようになっています。



5年生の算数では、単位当たりの量を学習しています。単位量当たりの大きさは、異種の二量の割合として捉えます。速さや人口密度などがこれにあたります。本時は、人口密度について、具体的な数値をもとに学習していました。ふじみ野市の人口密度と近隣市の人口密度を算出し、それぞれの市の特徴を比較しました。扱う数値が大きいので、手計算ではなく、タブレットで表計算ソフトを活用しました。子供たちは、「ふじみ野市は、面積は小さいけれど、人口が多いから、人口密度が高い。」ということに気づきました。



2年生は、生活科で「まちたんけん」に出かけました。学区内にある公民館や交番などの公的施設やスーパーや商店などの商業施設を訪れました。子供たちは、事前に質問を届けているので、働く人たちから丁寧に説明してもらえました。9名の保護者の皆様にも、ボランティアとして付き添っていただきました。おかげさまで、安全に学習を行うことができました。ご協力いただいた関係各所の皆様、ボランティアの皆様に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



本校の学校運営協議会は、2か月に1度の割合で開催しています。今日は、第5回の学校運営協議会でした。議題は、学校経営報告、教職員人事、学校評価等でした。また、花プロジェクトリーダーから市花いっぱい運動コンクール審査結果の報告や今後の取り組みについて説明がありました。

学校の教育環境の改善・維持については、私から委員の皆様にご相談し、課題解決に向けてご協力いただけることとなりました。地域協働学校の取り組みは、熟議を通して学校課題の解決のために機能しています。西小が地域の核となり誇りとなるよう、今後も連携協力していきたいと願っています。

